

排出企業を対象にした産業廃棄物マネジメント研修会

＝基礎コース＝

平成25年1月に新たな産業廃棄物マネジメント研修会（基礎コース）を開催します。企業の事業活動に伴って産業廃棄物が排出されています。そして、ほとんどがその産業廃棄物を自ら処理するのではなく、処理業者に委託して処理されています。このため、各企業の産業廃棄物担当者にとって、産業廃棄物やその処理の委託に関する法令である廃棄物処理法や、その関連法令の知識が不可欠なものとなっています。廃棄物処理法の規定は複雑で理解が困難な面がありますが、不十分な理解のままに委託を行うと、法令上の責任を問われることにもなりかねません。本研修会は、廃棄物処理法とその関連法令のうち、産業廃棄物とその処理の委託に関する規定をできるだけやさしく解説するとともに、委託の相手方である処理業者に関する規定や処理業者が行う処理に関する規定についても、排出事業者にとって必要な範囲で解説します。是非、ご参加ください。

1. 研修会の目的

この研修会は、産業廃棄物を排出される企業の実務担当者等の方を対象にした、基礎講座です。廃棄物処理法をはじめ、委託契約やマニフェスト運用等の産業廃棄物の適正管理についての基礎知識と実務のポイントを学び、企業の皆様の廃棄物管理に役立ててもらうことを目的としています。

2. 対象者

排出企業における産業廃棄物管理実務担当者・新任担当者等

3. 受講料

6,000円(消費税、テキスト代含む)

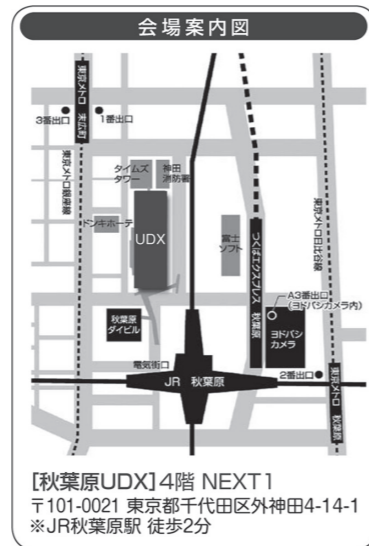
4. 開催期日・会場・定員

- 開催期日：平成25年1月29日(火)
受付12:45、開会13:20
- 会場・定員：【東京会場】秋葉原UDX4階 NEXT1
【定員】100名

5. プログラム(予定)

時間	研修内容	講師
12:45～13:20	受付	
13:20～13:30	開会	
13:30～15:00	廃棄物処理法の基礎 ・廃棄物の定義と分類 ・排出事業者責任 ・産業廃棄物の処理基準	公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター 講師(産業廃棄物行政経験者)
15:00～15:10	休憩	
15:10～16:30	産業廃棄物管理と実務 ・委託契約の実務 ・マニフェスト管理と実務 ・処理業者の選択等	公益財団法人日本産業廃棄物処理振興センター 講師(産業廃棄物行政経験者)
16:30～16:40	東京都における優良業者認定制度	東京都環境局廃棄物対策部産業廃棄物対策課
16:40～16:50	受講証明書の交付	

- 研修会テキストについて
本研修会テキストは研修会当日に配布します。産業廃棄物管理に携わる事業者の皆様の身近な参考書として日々の業務に活用いただけるテキストです。
- 講義について
講義は産業廃棄物行政の経験豊富な講師が、図表や写真等で分かり易く解説します。



●センターホームページリニューアル

センターでは、主事業である“電子マニフェスト事業”と“教育研修事業”を軸に、ホームページのデザインや機能性を一新し、使いやすく分かりやすいホームページにリニューアルします。



写真1 日廃振センターホームページ



写真2 情報処理センターホームページ

●第11回産業廃棄物と環境を考える全国大会

「災害廃棄物の速やかな処理を目指して」をテーマに

平成24年10月26日(金)に東京都のホテルニューオータニに於いて、(公社)全国産業廃棄物連合会、(公財)産業廃棄物処理事業振興財団並びに(公財)日本産業廃棄物処理振興センターの三団体主催による、「産業廃棄物と環境を考える全国大会」を開催いたしました。

今年で本大会は第11回目を迎え、多くの廃棄物関係者等(601名)の参加がございました。

大会では、環境大臣表彰式典の後、環境省大臣官

房廃棄物・リサイクル対策部長 梶原成元氏の基調講演「災害廃棄物処理の現状と課題」がなされ、続いて、行政担当者、事業者、学識経験者のパネリストによる討論会が「災害廃棄物の速やかな処理を目指して」をテーマに行われました(P12 特別寄稿参照)。

なお、次回の全国大会は平成25年11月8日に三重県で開催を予定しています。



写真1 循環型社会形成推進功労者等環境大臣表彰式典



写真2 環境省大臣官房廃棄物・リサイクル対策部長 梶原成元氏による基調講演

●「APLAS Bali 2012」での発表報告

国際協力事業における産業廃棄物情報の発信と収集一環として、2012年10月8日(月) から11日(木) にインドネシアバリ島で開催された「The 7th Asian-Pacific Landfill Symposium (APLAS Bali 2012)」に参加して、調査成果を発表しましたので、下記に概要を報告します。

APLASは、アジア太平洋地域における持続可能な開発と環境の保全を目的とした廃棄物埋立地と資源循環に関する専門家による技術、経験、および理論を共有・議論する場として、日本の特定非営利活動法人最終処分場技術システム研究協会(LSCS研)が常設事務局となっている国際シンポジウムです。

今回のAPLAS Bali 2012では、中東から東南アジアを含めた広い地域の16カ国、合計約110の発表があり、日本からは日廃振センター、自治体、廃棄物関係団体、企業、大学などが約33の発表を行いました。

開会式では、地元バリ市長やインドネシア政府機関各国の関係者の挨拶がありました(写真1)。基調講演では、インドネシアをはじめとする国々における廃棄物処理の現状や課題

に関する発表があり、日本の環境省からも日本の廃棄物管理や最終処分場の現状が発表されました。

日廃振センターは、平成23年度環境研究総合推進費補助金研究事業を受けて実施した「産業廃棄物最終処分場におけるマニフェスト記載情報の信頼性の検討」の成果をポスター発表しました(写真2)。発表では、マニフェスト情報の多面的な有効利用を進めるために必要なマニフェストに記載された産業廃棄物の種類や重量の信頼性の程度や、産業廃棄物の重量換算係数の検討結果などを紹介しました。

また、シンポジウムでは、バリ島の最終処分場の施設見学会も実施され、インドネシアにおける廃棄物処理の現状と今後の課題を知る貴重な知見が得られました。



写真1 開会式の様子

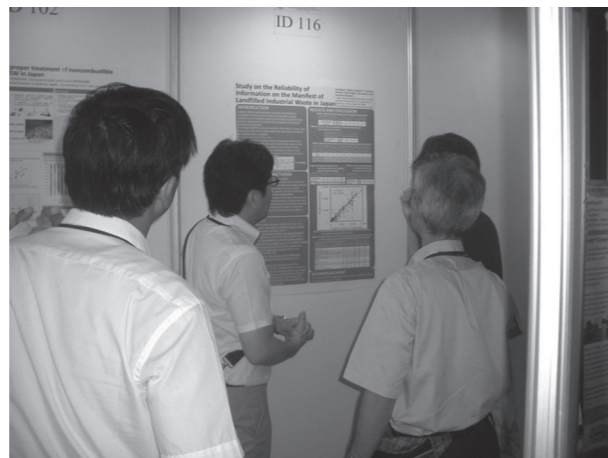
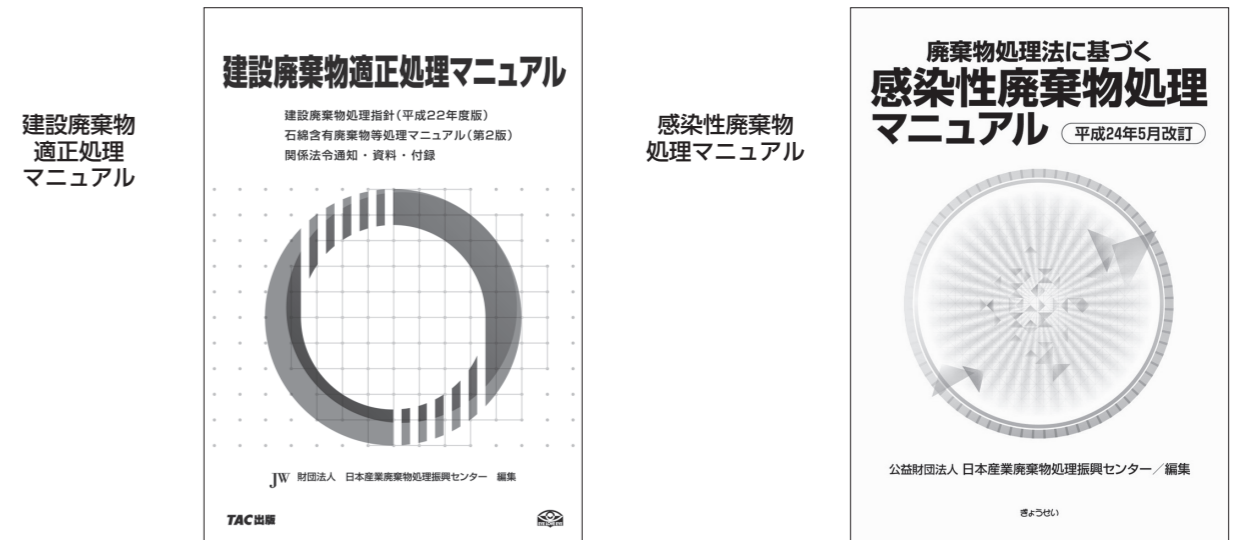


写真2 ポスター発表の様子

●刊行物のご案内

センターでは産業廃棄物の適正処理の推進を図るため、産業廃棄物の排出量が多いため建設廃棄物と有害性が高く医療機関から排出される感染性廃棄物について、関係者に廃棄物の処理や運用について理解を深めていただくために「建設廃棄物適正処理マニュアル」や「廃棄物処理法に基づく感染性廃棄物処理マニュアル平成24年5月改訂」を発行しています。

ご購入を希望される方は、当センターホームページ(<http://www.jwnet.or.jp/publish>)からお申し込みください。



●韓国環境公団及び循環経済研究所からの来訪

平成24年10月31日に、韓国から韓国環境公団(KECO)及び循環経済研究所の方々が、日廃振センターを来訪されましたので、その概要を報告します。

KECOは、韓国の法律に基づく組織で、環境汚染防止、環境改善及び資源循環の促進に係る事業を手掛け、電子マニフェストシステムを運営管理しています。日廃振センターは、平成19年8月に、KECOと産業廃棄物マネジメントならびに環境保護の促進に寄与することを目的とした交流促進の覚書を交わし、継続的な情報交換を行っています。今回のKECOの方々の来日目的は、日本における産業廃棄物管理政策の先進事例の調査であり、当センターでは、日本の電子マニフェスト制度の現況や、講習会・研修会等の廃棄物関連の教育事情についての、ヒアリング調査が実施されました。また、来日されたKECOの金資源

国際部
循環課長からは、「今後は当調査内容を生かして、韓国の事業場廃棄物施策の改善に役立てたい。」とのお話をいただきました。



KECO及び日廃振センター職員との集合写真